第29回　全国街路事業コンクール応募資料

様式1

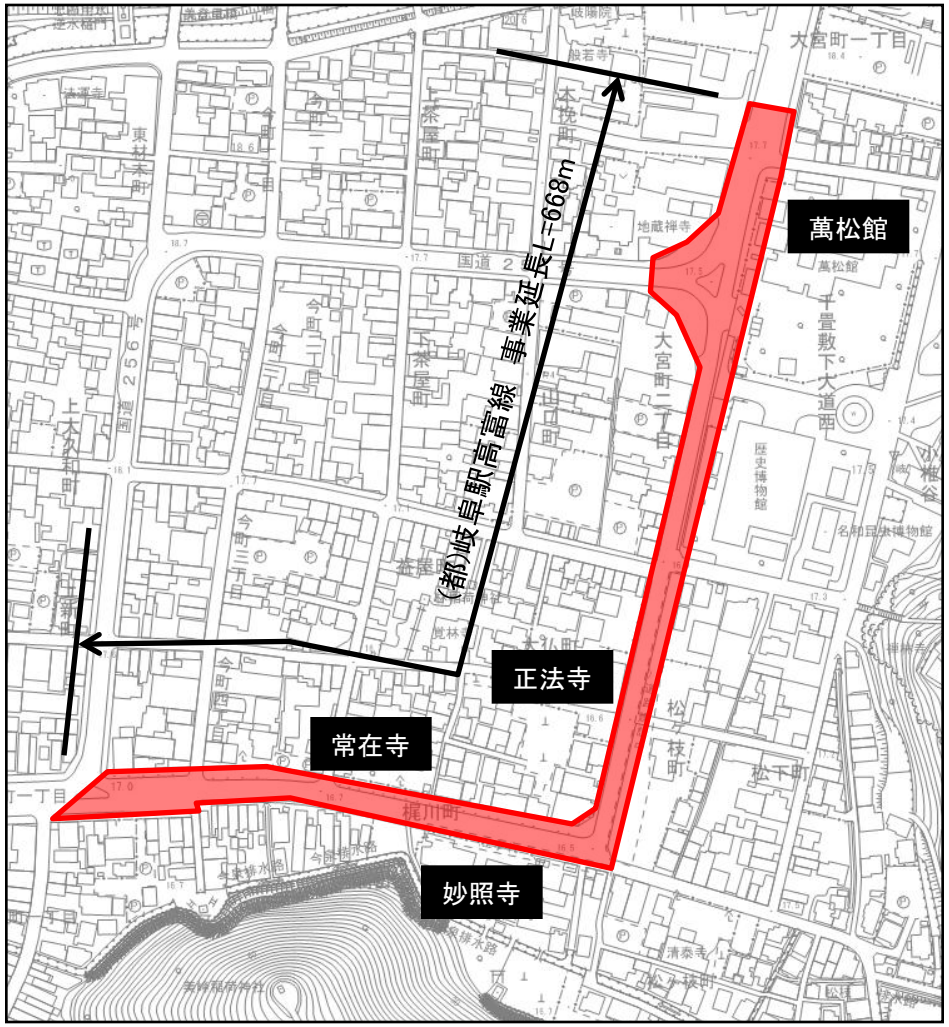
ふりがな		ぎふし　きばんせいびぶ　どうろけんせつか
応募者名		岐阜市　基盤整備部　道路建設課
街路事業	ふりがな	としけいかくどうろ　ぎふえきたかとみせん（かじかわこうく）　がいろせいびじぎょう
	事業の名称	都市計画道路　岐阜駅高富線（梶川工区）　街路整備事業
	ふりがな	ぎふし　きばんせいびぶ　どうろけんせつか
	事業主体	岐阜市　基盤整備部　道路建設課
	ふりがな	ぎふし
	実施都市名	岐阜市
事業概要 （400字以内）		本市は、中心市街地に、織田信長公が最も長く滞在した岐阜城を頂く緑豊かな金華山がそびえ、山麓には、1300年の伝統を誇る宮内庁式部職鵜匠による鵜飼で名高い清流長良川が流れており、自然があふれる歴史の街として知られています。 また本地域は、平成27年度に「信長公のおもてなしが息づく戦国城下町・岐阜」として日本遺産第1号に認定され、歴史文化資産を活用した地域活性化が進められています。本路線は、こうした地域を貫く、都市の骨格をなす街路であり、交通・防災機能向上等の通常の機能に加え、沿線に立地する松尾芭蕉や斎藤道三ゆかりの歴史文化資産を保全するため、弾力的な幅員構成や一方通行の2路線を組合せた交通形態とする都市計画変更を行いました。また、地域住民とも協議を重ね、歩行者と分離した自転車走行環境の整備や清流をイメージした「せせらぎ水路」の設置を行い、来訪者が安全・快適に散策できる空間を創出しました。
事業規模		○事業延長：668m　○幅員：17．0m（2車線）～25．0m（4車線） ○事業費：約16億円　○事業期間：平成20年10月～平成27年5月
事業の目的		本路線は、中心市街地及び岐阜城下町を通る幹線道路で、市内のバス幹線軸を構成する道路であり、さらには、巨大地震等の発生時には、緊急輸送道路としての役割も担う重要な路線であります。 また、本市では、健康寿命を延ばす施策として「歩き」を中心とした取組みを進めるとともに、まちづくり施策として自動車優先の社会構造から脱却し、歩行者や自転車利用者に優しい道路整備が重要であると考えており、このふたつの施策を一体的に進めることで、暮らすうちに誰もが健康で幸せになれるまち「スマートウエルネスぎふ」を推進しております。さらに、本路線は周辺の歴史・文化を感じながら散策する「まちなか歩き」のコースとして位置付けています。 よって、本事業では、交通機能の強化、防災機能の向上に併せて、金華山周辺の緑豊かな自然環境や信長公ゆかりの歴史・文化資産との調和を図るとともに、歩行者が安全で快適に散策することができる、“思わず歩きたくなる”空間の創出を目指し、事業を実施しました。
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり（該当項目にﾁｪｯｸを付す）
	事業効果の概要	・全国で首都圏以外で初めて導入されたBRT（連節バス、バスレーン）により公共交通軸を形成しました。また、併せて、バスレーンを敢えて歴史的まちなみに調和する色で舗装することで、「公共交通軸を見える化」しました。 ・本路線は、当初幅員25m、4車線で都市計画決定されていましたが、計画通りに整備を行った場合、松尾芭蕉ゆかりの寺社仏閣や昭和天皇も御宿泊されたことのある旅館といった歴史文化資産の一部が失われてしまうため、隣接する一般国道と本路線の2つの路線で北進及び南進の自動車交通機能を分担することとした。さらには、都市計画道路の幅員を周辺状況に合わせ17mに縮小するとともに、並行する一般国道を現況幅員に合わせて都市計画決定を行い、両路線により、歴史文化資産を保全した道路整備を実現しました。 ・本道路整備に併せて、震災発生時にライフライン確保に有効な無電柱化事業や局所的なゲリラ豪雨による河川の急激な増水に対応するため、道路直下部に地下貯留槽の整備を行い、中心市街地における防災機能向上を図りました。（地下貯留槽は下水道事業にて実施） ・本市が推奨する「歩き」を中心としたまちづくりの一環として、街路樹やせせらぎ水路の整備のほか、休憩スポットとしてベンチ、水飲み場や史跡案内看板を随所に配置したことで、多くの市民や来訪者が散策する光景が見られます。また、本路線は、通勤通学の自転車交通が非常に多く、整備前は、歩行者と交錯するなど交通安全上、危険な状況が見られたが、歩行者と自転車を植栽帯で分離し、異なった色によるカラー舗装を行ったことで、安全性・快適性が確保できました。
	定量的効果 （検証済の場合記入）	
地元対応等	・地域住民との協働等 ・事業反対等はあったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 ・その他	・地元で結成されたまちづくり協議会と設計段階から協議を重ね、植栽の樹種選定、自転車道＆歩道の舗装色選定、せせらぎ水路の形状などを決定しました。 ・「岐阜城下町遺跡」という埋蔵文化財包蔵地に指定されており、工事に先立ち発掘調査を実施するとともに、現地見学会も開催し、多くの市民が訪れました。 ・国内外からの観光客などが多く訪れる地区における複数年での工事であったため、大型の整備イメージ看板を起点と終点に設置するとともに、歩道上に本地区の歴史的背景を示したパネル展示も実施し、道路事業の周知とPRに努めました。 ・歴史文化資産に興味があり来訪された外国人観光客に対して、情報発信ができるよう、案内板には英語併記も実施しました。 ・地域のまちなみ保全として、「ぎふ景観まちづくりファンド助成制度」により、沿線の建築物を歴史的なまちなみと調和させる工事が実施されました。

事 業 位 置 図

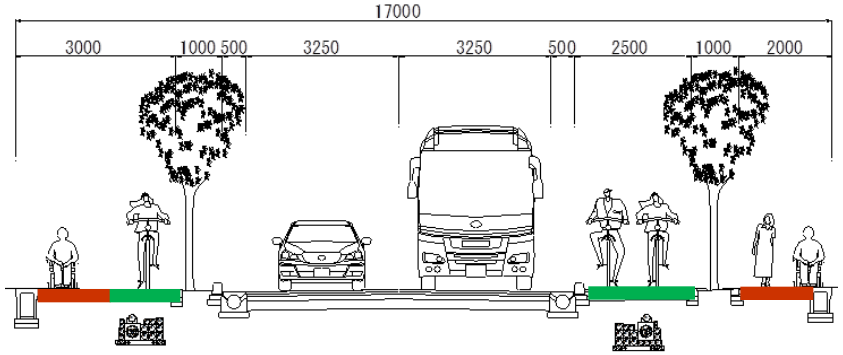
川原町
長良川の鵜飼
長良川健康ステーション（ＳＷＣ拠点）
信長居館跡（岐阜公園内）
清流・長良川
国史跡・岐阜城跡
中心市街地のにぎわい（柳ケ瀬商店街）
長良川
岐阜公園
岐阜城
金華山
岐阜城下町遺跡
岐阜市庁
BRTルート
事業箇所
(都)岐阜駅高富線
（一般国道２５６号）
0 100 500
N

全体図（平面図・横断図ほか）

○平面図



○標準横断図



○沿線の歴史・文化資産

・斎藤道三の国盗りの拠点

・松尾芭蕉が滞在した寺院

・日本三大仏の岐阜大仏

・昭和天皇が宿泊した旅館

事　業　前　写　真

平成17年9月撮影

平成17年9月撮影

平成17年9月撮影

平成24年7月撮影

事　業　後　写　真

平成28年6月撮影

平成28年9月撮影

平成28年9月撮影

平成28年9月撮影

（都）岐阜駅高富線の整備効果アピール資料

・並木道

高木には、周囲の景観に合った「和」を表現するヤマボウシを、低木にはキリシマツツジやタマリュウを植栽しました。

花や実に、色彩感を楽しむことができ、四季を感じながらの散策を楽しめます。

・休憩スポット

健康寿命を延伸する市民の散策や、観光客の休憩施設として、まちなかに約1,000基のベンチを設置しており、その一環として本路線にもベンチ及び水飲み場を配置しました。まちなか歩きの際の休憩所として、親しまれています。

・せせらぎ水路

「名水百選」に選ばれた清流・長良川と同等の美しい水が流れ、人々が親しめる癒しの空間を創出。水際空間は、訪れる人の心に潤いと安らぎを与えています。

・電線の地中化

電柱のないまちなみを形成し、都市景観の向上を図るとともに、緊急輸送道路としての機能を強化しました。

・歩行者と自転車の分離

歩行者と自転車を視覚的及び物理的に分離し、安全性、利便性、快適性が向上しました。

また、スマートウエルネスぎふのまちづくりとして、次の拠点までの距離や歩数、消費カロリーなどを表示した路面標示が設置されています。

※スマートウエルネスぎふ：
「賢く（スマート）健康（幸）（ウエルネス）」を政策の中核にとらえたぎふのまちづくりを意味し、健康施策とまちづくり施策を一体的に進めることにより、暮らすうちに誰もが健康で幸せになれるまち、「健幸都市」を創ろうという取組み。

・連節バスとバスレーンの導入

総合交通戦略に基づき、公共交通を軸としたまちづくりの実現に向け、『岐阜市型ＢＲＴ』を進めており、その一環として、連節バス及びバスレーンを導入しました。バスレーンをカラー舗装し、優先化することで、バスの利便性、快適性を高めました。

※BRT（Bus Rapid Transit）：
バスレーンの導入など走行環境の改善により、バスの定時性や速達性を確保し、連節バスなど車両の高度化とあわせ、利便性・快適性を高めた次世代のシステム。

事　業　効　果　一　覧　表

大項目	中項目	小項目	指　　標	該当項目
事業の効果	円滑な交通	物流を支える	・整備水準の低い地域の改善に寄与した。 ・道路ネットワークの形成に寄与した。	◎
		渋滞のない交通環境を実現	・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。	○
		公共交通の利便性向上	・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。	◎
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	・交通事故の防止に寄与した。	◎
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。	◎
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。	◎
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。	◎
		都心の活力を高める	・中心市街地の活性化に寄与した。	◎
		地域経済の振興を支援する	・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。	○
	アメニティの向上	沿道環境の改善	・沿道環境の改善や充実に寄与した。	◎
		うるおいのある道路空間の創出	・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。	◎
		歴史・文化の保全	・歴史･文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。	◎
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。 ・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。	○
		事業期間等	・当初の事業期間を短縮し、前倒しで供用開始した。 ・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。	△

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。
　◎効果大　○効果中　△効果小

路線全体の進捗状況

都市計画道路　岐阜駅高富線　総延長L=10,110m

整備済区間

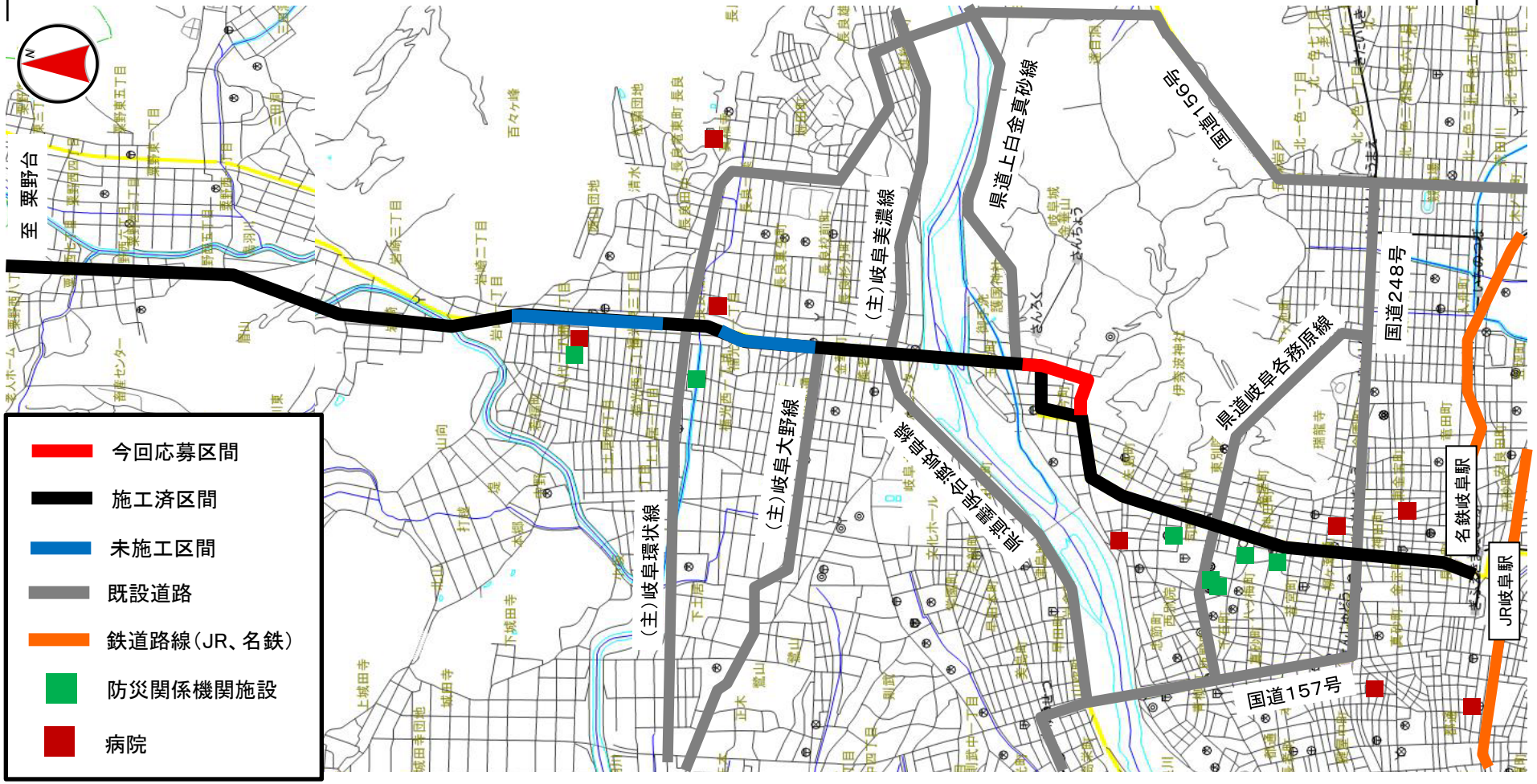
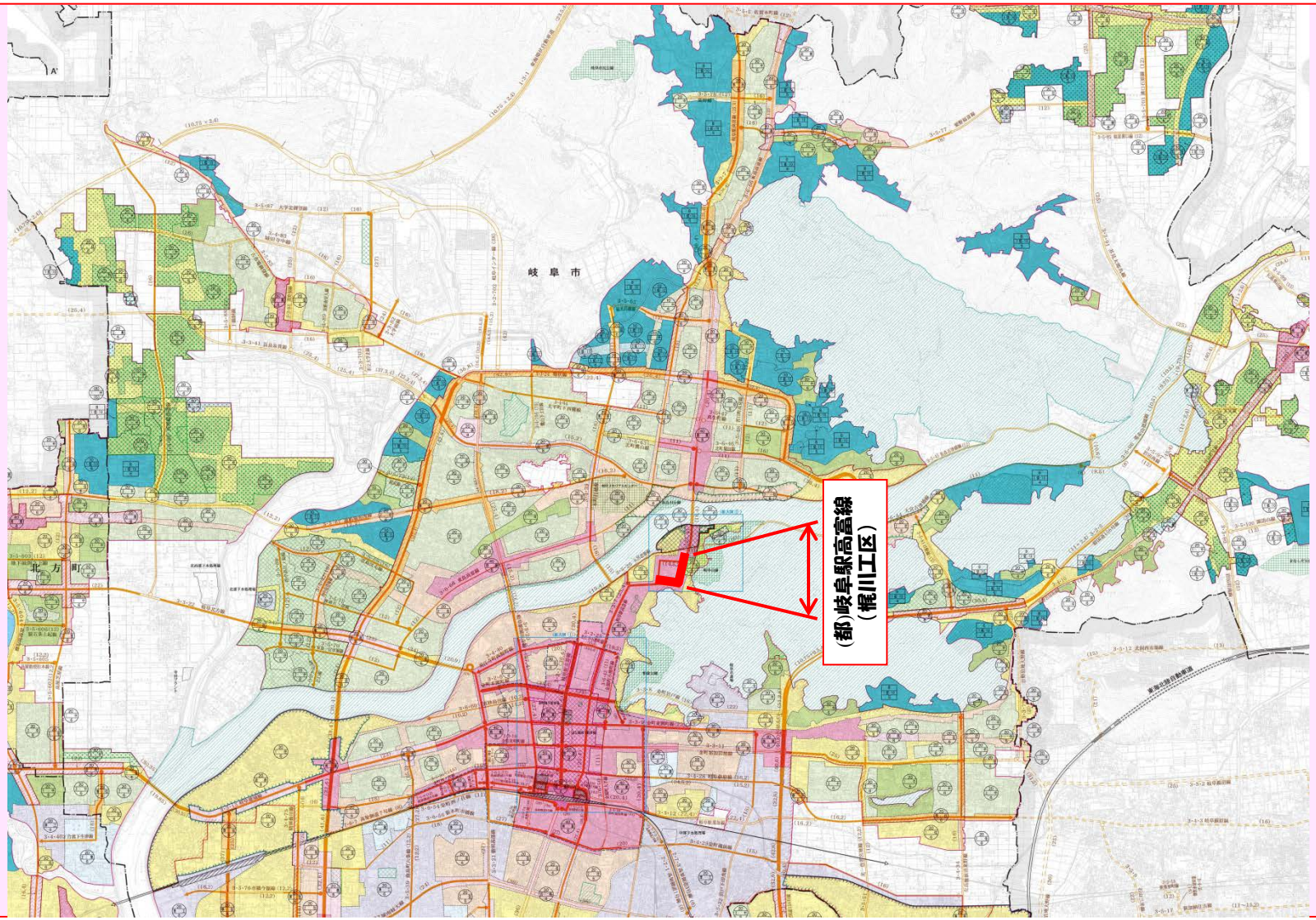
未施工区間

整備済区間

未施工区間

今回応募区間
H27年度完成
延長L=668m

整備済区間



都市計画図